



ヒーターを設置する金型構造で特許を取得している

名古屋 オートモティヴ ワールド

9月18～20日

注目の出展企業

《 4 》

自動車向けの樹脂成形加工を制御する独自技術「Yー工を手掛ける山下電気(山 He a T)」を強みに、射出成形(下慎一郎社長)。金型の温度、型品の外観や機能向上に貢献している。

射出成型では、金型に流し込んだ樹脂が合流する部分に「ウエルドライン」と呼ばれる

V字の溝ができ、傷のように見えることが課題だった。「YーHe a T」は金型にヒーターを埋め込み、コントローラーで金型表面の温度を制御してウエルドラインをなくす。

境意識の高まりを背景に、つでもある。成形品の形に合わせてヒーターをまげられるほか、ヒーターを設置する金型の溝構造で特許を取得しており、自由なレイアウトを実現する。技術特許のライセンス販売と成型品の受注販売を行っており、金型温度を1度単位で

温度制御で外観・機能向上

自動車内装部品で採用拡大

山下電気

△メモ▽▼本社▽東京都品川区▽電話▽03・3740・2411▽設立▽1936年
▽従業員数▽180人

り、ライセンス契約をした企業は自社の金型を使うこともできる。同技術により外観が向上するほか、ウエルドラインを隠すための塗装が不要になる。環

境意識の高まりを背景に、つでもある。成形品の形に合わせてヒーターをまげられるほか、ヒーターを設置する金型の溝構造で特許を取得しており、自由なレイアウトを実現する。技術特許のライセンス販売と成型品の受注販売を行っており、金型温度を1度単位で

最近では、シフトレバーカバーやドア周辺、カーナビパネルなど、自動車の内装部品への採用が増えている。中でも、高級感のある黒色塗装「ピアノブラック」調の部品は、光沢があり傷が目立ちやすいことから強みを生かせる。完成車メーカーと直接取引する1次部品メーカーの量産実績が増えたことで、足元では2次部品メーカーへの販路が拡大しつつある。

ライセンス売上高のうち、東海4県が占める割合は7割に上る。昨年に続いて名古屋オートモティブワールドに出展し、中部での拡販や新たな販路開拓を進める。